

別紙2-3 平成30年度地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業（2号事業）補助事業概要書（実績版）

事業計画	補助事業者	宮城県遠田郡 美里町		事業名称	美里町公共施設省エネ化モデル事業	
	事業対象施設	スイミングセンター		事業期間	平成30年度～平成32年度	
	設備内容 (導入設備・運用改善等)	◎スイミングセンター（LED照明、BEMS、電気式HPエアコン、ファンインバータ） 空調機ファンについては、現在定格運転となっていることから、空調機ファンのモータ更新とインバータ化により夜間の回転率を制御することで排出量を削減する。照明に関しては、水銀灯をLED化し、BEMSにより不要な点灯等による電力消費の削減を図る。				
	補助対象経費 (補助金交付確定額)	21,034,000円	事業実施後のCO ₂ 削減効果(見込)	78.2 t-CO ₂ /年	導入設備に係る想定ランニングコスト ※耐用年数の期間	2,143,246円 ※耐用年数 15年
事業内容等	先進性・モデル性（カーボン・マネジメント推進体制等との組合せによるモデル性等） スイミングセンターでは空調機ファンが定格運転となっていることによるエネルギーの無駄が生じ、また、水銀灯を使用しているため、照明のエネルギー消費が大きくなっていた。 このため、空調機ファンへのインバータ制御を導入し、季節に応じて夜間の回転数制御を行うとともに、照明のLED化を実施した。空調機ファンのインバータ制御にあたっては、施設職員が参照する設定マニュアルを掲示し、運用が円滑に行われるようにした。また、エネルギー消費状況をモニタリングし、外部コンサルと定期的に確認を行うことで、施設内の環境維持（カビ等の防止）と省エネ性の確保に努めることとしている。 LED照明の導入にあたっては、照度シミュレーションを実施し、施設管理者と協議の上、プール利用者の安全確保（プールの底が視認できる）がなされるよう照度等の調整を行った。 また、更衣室、トイレ等には人感センサーを配置し、BEMSを導入することにより、消し忘れ等による無駄なエネルギーの防止を行えるようにした。 なお、BEMSについては平成32年度事業として予定されている美里町役場本庁舎の改修事業において設置されることとなっているため、稼働は平成32年度末を予定している。					
カーボン・マネジメント推進体制等	カーボン・マネジメント推進体制	本町では、町長をトップとするカーボン・マネジメント体制を構築し、実施マニュアルを整備している。実施マニュアルでは、PDCAサイクルを、全庁的な評価等を実施するPDCAサイクルと、実行組織内部の組織ごとに評価等を実施するPDCAサイクルの2つを規定しており、多層的なPDCAサイクルとしている。				
	ノウハウの普及方針	本町はCOOL CHOICEに賛同し、庁舎入口への掲示を行い町民への周知に努めている。今後は美里町出前講座の一環として省エネ、再生可能エネルギーの活用に関する講座を設け、町民等へ積極的な活用を促すほか、民間事業者等とも連携し、環境学習等を含めた効果的な普及方策について検討を進める予定である。				



美里町スイミングセンター